

## 戦評

大会名 県民共済カップ

第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦

日時 令和4年10月29日～30日

会場 青森県武道館

女子決勝（10月30日）

青森西高等学校	3	$\left\{ \begin{array}{l} 25-12 \\ 25-8 \\ 25-10 \end{array} \right\}$	0	千葉学園高等学校
		ファーストレフリース		工藤雄也
		セカンドレフリース		渡邊匠哉

6年連続19回目の選手権大会出場を目指す青森西高等学校（以下青西）と初の出場を目指す千葉学園高等学校（以下千葉）の対戦。第1セットは、青西下山のスパイクとサーブが決まり、青西リードでゲームが進む。千葉も中村のスパイクで加点するが、青西は平山が時間差攻撃を絡めて加点し、11-4 青西リードで千葉がタイムアウト。タイムアウト後も青西川端のセンターからの速い攻撃と、平山の2連続サービスエースもありリードが広がり 17-6 青西リードで千葉が2回目のタイムアウト。その後も青西の勢いは止まらず、25-12で青西が第一セットを先取する。第2セットも、青西下山、川端、平山のスパイクが立て続けに決まり、青西がリードを広げ 12-3 青西リードで千葉がタイムアウト。中盤も、青西宮古、川端のミドル攻撃が決まり、リードを広げる。千葉は 17-5 で2回目のタイムアウトをとり、中村と村山のスパイクで加点するが、青西は途中出場の立田のスパイクも決まりさらに勢いに乗り、25-8で青西が第2セットもとる。第3セットも、青西セッター角谷が多彩なトスワークを発揮し攻撃のギアを上げていく。千葉も村山のスパイクが決まるが、青西も宮古のミドル攻撃で加点し、11-3 青西リードで千葉のタイムアウト。千葉も高さのあるブロックで対応しようとするが、青西の攻撃が早くリードは広がり 18-7で千葉2回目のタイムアウト。タイムアウト後も平山のサーブが相手を崩し、齋藤、下山のスパイクでリードを広げる。最後は宮古の移動攻撃が決まり、25-10で青西が第3セットも取り、6年連続19回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 村元直記